

患者の皆様へ

令和 3 年 2 月 22 日

現在、千葉大学医学部附属病院では、「COVID-19 感染者の重症度および血糖値管理の関連性の研究」を行っています。今後の新型コロナ感染症治療に役立てることを目的に、この研究では当院入院および通院患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「COVID-19 感染者の重症度および血糖値管理の関連性の研究」

2. 研究の意義・目的

2020年1月以降に新型コロナ感染症にて入院もしくは受診した症例に関し、カルテの情報および血糖値などの検査結果、CT画像、サイトカイン、内皮機能マーカーなどをもとに重症化と関係する因子と入院日数、発症からPCR検査陰性までの日数、転機などの結果との関係を解析し、新型コロナ感染症例における血糖管理の有用性と至適な血糖管理目標、血糖管理手法を検討すること、さらに病態の解明、病勢悪化のリスクスコア、リスクシミュレーターの作成が目的です。

3. 研究の方法

千葉大学病院に通院または入院した患者さんの診療録に記載されている年齢、性別、身長、体重、BMI、血圧、脈拍、体温、喫煙歴、アルコール摂取量、使用薬剤、BCG 摂取有無、検査項目：血算、生化学（肝機能、腎機能、血糖、脂質、フェリチンなど）、凝固線溶系（Dダイマーなど）、尿、サイトカイン（IL-6）、内皮機能マーカー（ICAM-1, vWF, PAI-1, トロンボモジュリンなど）、レントゲン、CT 所見（肺炎像、横隔膜厚、動脈硬化所見）と入院日数、発症からPCR検査陰性までの日数、転機などと照らし合わせることで新型コロナ感染症の最適な血糖管理目標および手法、予後不良となる予測因子を明らかにします。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は匿名化し、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データは、千葉大学大学院医学研究院の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

* 文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科
本件のお問合せ先 : 千葉大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科
医師 越坂 理也

043 (222) 7171 内線 72846